

南アフリカにおける包括的なデータセンターの変化

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

はじめに

このドキュメントでは、南アフリカのUmbrellaエッジデータセンターに対する変更について説明します。

概要

2021年12月2日より、次のUmbrellaエッジデータの変更が有効になります。

- 南アフリカのケープタウンは、Umbrellaの新しいロケーションです。お客様は現在このファイアウォールに接続し、DNS、セキュアWebゲートウェイ、クラウド配信ファイアウォールなどの完全なSIGサービスを利用できます。
- 南アフリカのヨハネスブルグでは、クラウド配信ファイアウォールを含む完全なSIGサービスが可能になりました（以前はDNSで、セキュアなWebゲートウェイのみでした）。

IPSecトンネル接続用に新しい領域[AF-1](#)が作成されました。ケープタウンとヨハネスブルグがこの地域の2つのメンバーである。メンテナンスや停止が発生した場合、これらのデータセンターの一方への接続は、他方に自動的にリダイレクトされます。

どちらのデータセンターもキャリア中立のTeracoコロケーションファシリティにあり、[NAPAfrica Internet Exchange](#)でピアリングされています。

このようなエッジデータセンターへのアップグレードにより、急速に拡大する[グローバルネットワーク](#)が拡大します。シスコの革新的な[グローバルクラウドアーキテクチャ](#)と[エニーキャストルーティング](#)により、これらの地域のお客様のほとんどは、アップグレードされたデータセンターに自動的に接続します。

また、すべてのデータセンターの高いアップタイムを維持するように努める一方で、拡張ルーティングソリューションにより、データセンターが何らかの理由で使用できない場合、IPsecトンネルの場合でも、トラフィックがシームレスかつ自動的に次に近いデータセンターにルーティングされます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。